

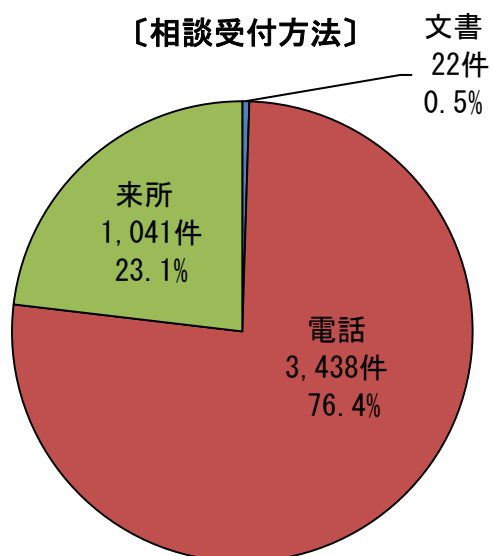
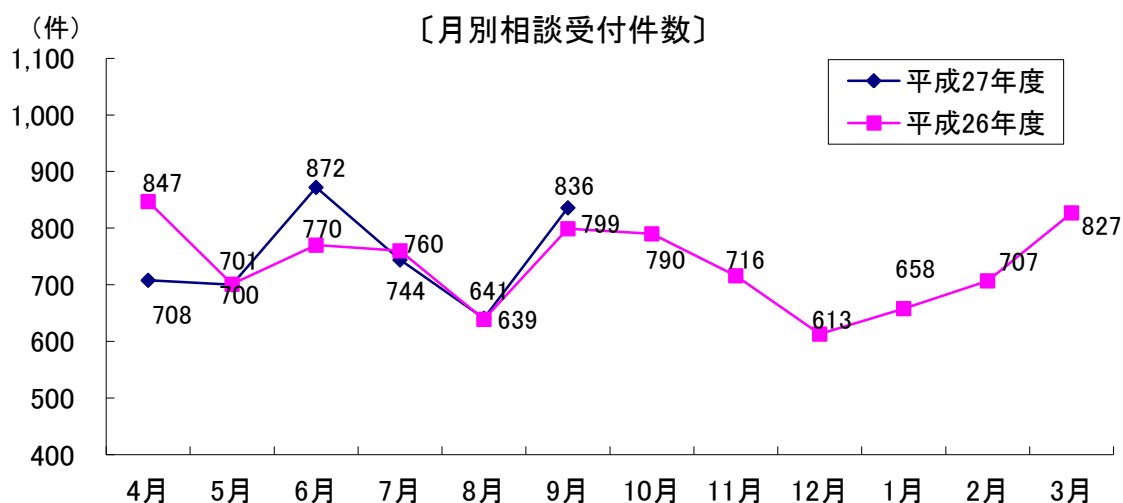
## 平成 27 年 4 - 9 月青森県内の消費生活相談状況

### 1 平成 27 年 4 - 9 月の状況

#### (1) 相談受付状況

平成 27 年 4 - 9 月に県内の消費生活相談窓口で受け付けた消費生活に関する相談件数は、4,501 件（苦情 3,904 件、問合せ 597 件）であり、前年度と比較して、15 件（0.3%）減少しています。（単位：件）

項目 \ 年度	平成 27 年度	平成 26 年度	増 減
苦 情	3,904	3,790	114 (3.0%)
問 合 せ	597	726	▲129 (▲17.8%)
計	4,501	4,516	▲15 (▲0.3%)

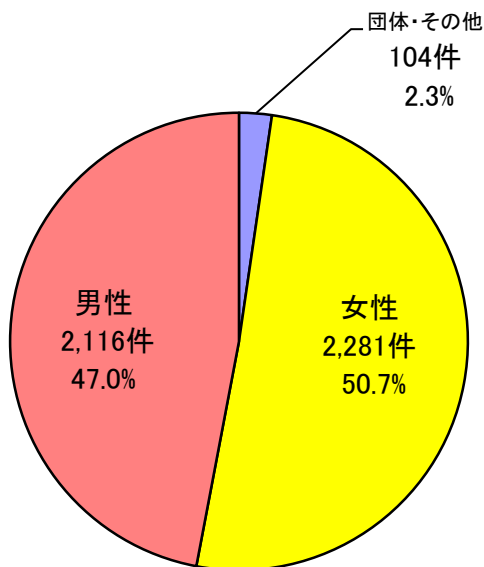


## (2) 契約当事者の状況

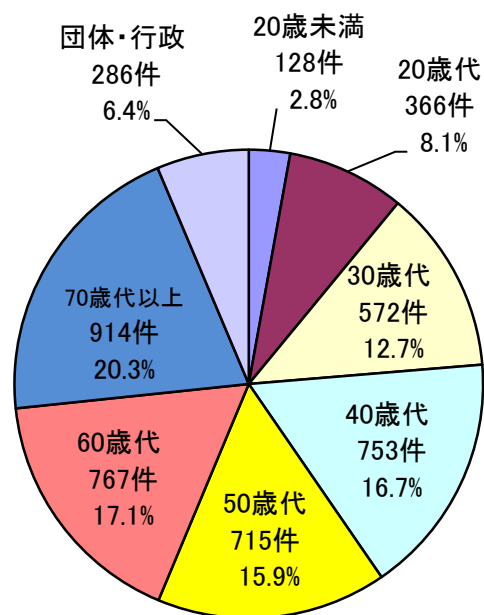
契約当事者を性別で見ると、女性が2,281件で、全体の50.7%を占めています。年代別では、70歳代以上が914件(20.3%)と最も多く、次いで60歳代が767件(17.1%)となっています。

また、契約当事者を職業別で見ると、給与生活者が1,706件(37.9%)と最も多く、次いで無職が1,377件(30.5%)となっています。

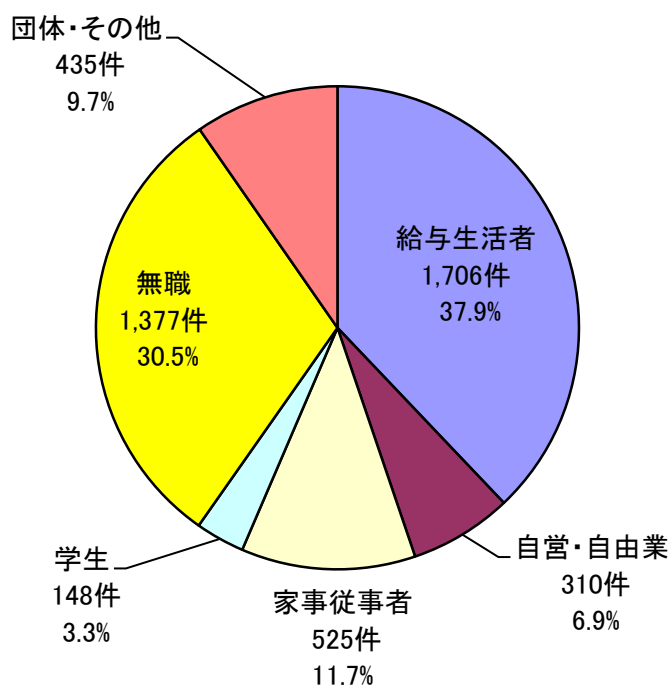
〔契約当事者の性別〕



〔契約当事者の年代〕



〔契約当事者の職業〕



### (3) 主な商品・役務別の相談件数・内容

(単位：件)

	商品・役務名	平成 27 年度	平成 26 年度	増 減
1	運輸・通信サービス	1,458	1,098	360 ( 32.8%)
2	金融・保険サービス	525	630	▲105 (▲16.7%)
3	商品一般	338	350	▲12 (▲3.4%)
4	食料品	228	182	46 ( 25.3%)
5	教養娯楽品	212	210	2 ( 1.0%)
	その他	1,740	2,046	▲306 (▲15.0%)
	計	4,501	4,516	▲15 (▲0.3%)

1. 「運輸・通信サービス」 平成 27 年 4－9 月の相談件数は 1,458 件で、前年同期より 360 件増加しています。相談別にみると、アダルト情報サイト、出会い系サイトなどの放送・コンテンツに関する相談の 917 件（相談件数の 62.9%）が最も多く、次いで光ファイバー、インターネット接続回線などのインターネット通信サービスに関する相談 365 件（同 25.0%）となっています。

2. 「金融・保険サービス」 平成 27 年 4－9 月の相談件数は 525 件で、前年同期より 105 件減少しています。相談別にみると、融資サービスに関する相談の 348 件（相談件数の 66.3%）が最も多く、次いで生命保険に関する相談 48 件（同 9.1%）となっています。

3. 「商品一般」 平成 27 年 4－9 月の相談件数は 338 件で、前年同期より 12 件減少しています。「商品一般」には、商品を特定できない相談や商品が多岐にわたる相談が分類されますが、不審な電話やメールなどの信用性を尋ねる相談が 102 件（相談件数の 30.2%）となっています。

4. 「食料品」 平成 27 年 4－9 月の相談件数は 228 件で、前年同期より 46 件増加しています。相談別にみると、健康食品に関する相談の 98 件（相談件数の 43.0%）が最も多く、次いでカニなどの魚介類の強引な電話勧誘に関する相談の 34 件（同 14.9%）となっています。

5. 「教養娯楽品」 平成 27 年 4－9 月の相談件数は 212 件で、前年同期より 2 件増加しています。相談別にみると、新聞などの書籍・印刷物に関する相談の 44 件（相談件数の 20.8%）が最も多く、次いで鉢植えなどの園芸用品に関する相談を含む他の教養娯楽品に関する相談の 35 件（同 16.5%）となっています。



青森県消費生活センター  
マスコットキャラクター  
テルミちゃん  
☎(TEL ME)

## 2 平成 27 年 4 - 9 月の特徴

### (1) 特殊詐欺に関する相談受付状況

#### ア 相談受付件数

平成 27 年 4 - 9 月の相談件数は 1,007 件で、前年同期より 2 件増加しています。類型別にみると、振り込め詐欺の 462 件（相談件数の 45.9%）が最も多く、次いでワンクリック詐欺の 400 件（同 39.7%）となっています。（単位：件）

年 度 類 型	平成 27 年度 4 - 9 月	平成 26 年度 4 - 9 月	増 減
振り込め詐欺	462	322	140 (43.5%)
ワンクリック詐欺	400	447	▲47 (▲10.5%)
金融商品取引名目詐欺	104	202	▲98 (▲48.5%)
異性との交際あっせん名目詐欺	37	24	13 (54.2%)
その他の名目詐欺（宝くじ）	2	6	▲4 (▲66.7%)
ギャンブル必勝法情報提供名目詐欺	2	4	▲2 (▲50.0%)
合 計	1,007	1,005	2 (0.2%)

#### イ 既払金額

平成 27 年 4 - 9 月における特殊詐欺の既払額等の状況をみると、既払金の合計額は前年同期より減少しているものの、お金を支払った人の数が増加しています。一方、既払金額の合計および一人あたりの平均既払金額も大幅に減少しています。

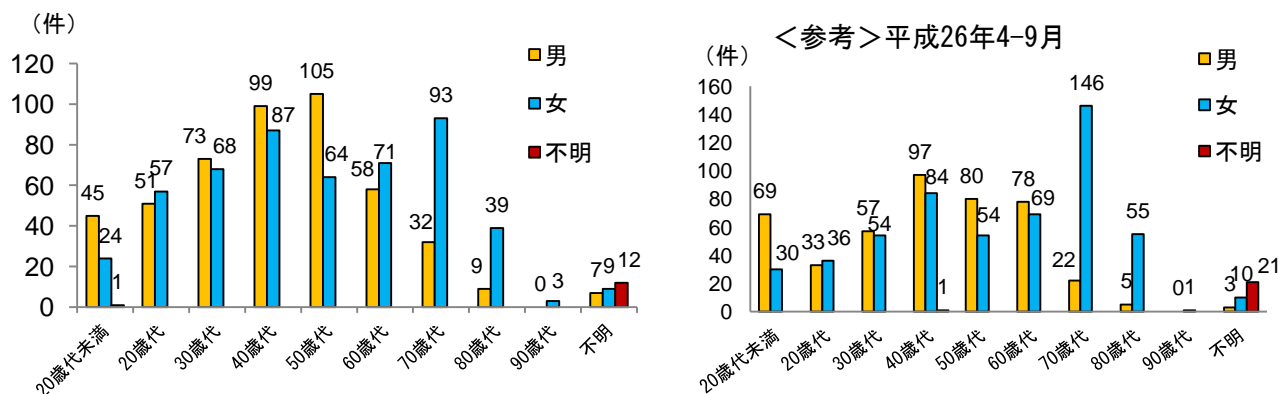
（単位：千円）

年 度	平成 27 年度 4 - 9 月	平成 26 年度 4 - 9 月	増 減
お金を支払った人の数	48 人	43 人	5 人 (11.6%)
既払金額合計	39,015	76,173	▲37,158 (▲48.8%)
平均既払金額（一人当たり）	813	1,771	▲958 (▲54.1%)
最大既払額	7,700	30,000	▲22,300 (▲74.3%)

#### ウ 契約当事者の年代および性別

##### (ア) 特殊詐欺全体

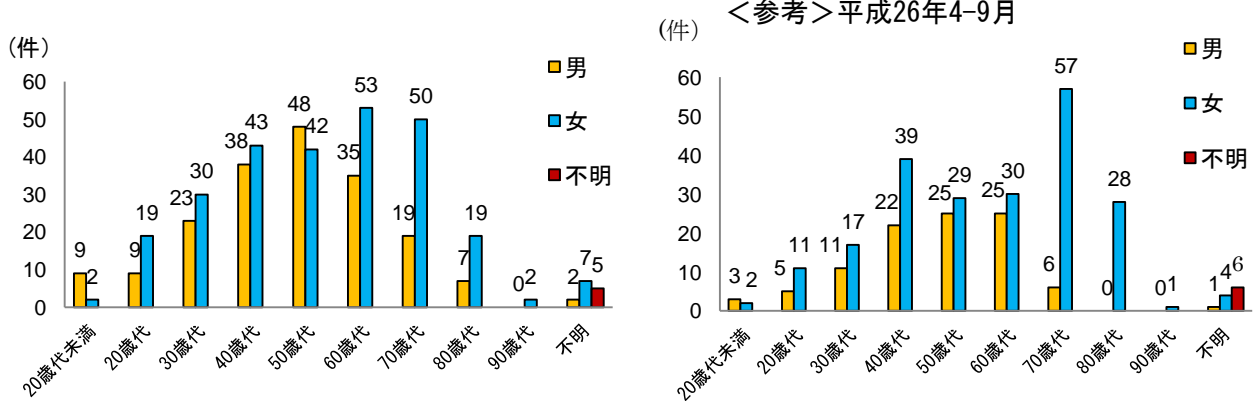
平成 27 年 4 - 9 月における特殊詐欺全体の契約当事者を年代・性別でみると、50 歳代男性の 105 件が最も多く、次いで 40 歳代男性の 99 件、70 歳代女性の 93 件となっています。



(イ) 詐欺の類型別上位 契約当事者の年代および性別

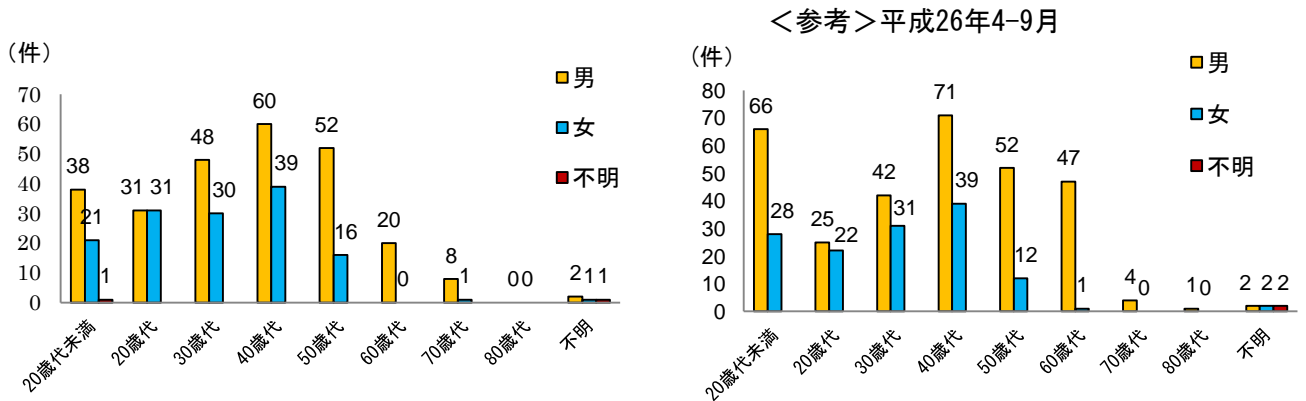
a 振り込め詐欺

振り込め詐欺の契約当事者を年代・性別で見ると、60歳代の女性の53件が最も多く、次いで70歳代女性の50件となっています。



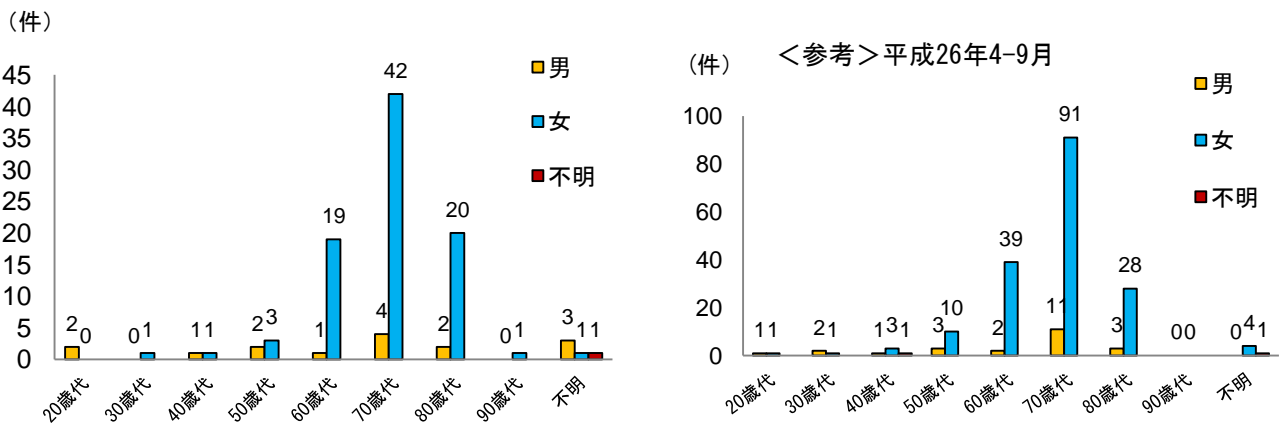
b ワンクリック詐欺

ワンクリック詐欺の契約当事者を年代・性別で見ると、40歳代男性の60件が最も多く、次いで50歳代男性の52件となっています。男性259件に対し女性139件で、男性が全体の64.8%を占めています。



c 金融商品取引名目詐欺

金融商品取引名目詐欺の契約当事者を年代・性別で見ると、70歳代の女性の42件が最も多く、次いで80歳代女性の20件となっています。



## エ 振り込め詐欺に関する相談

平成27年4－9月における振り込め詐欺の相談件数は462件で、前年同期より140件増加しています。相談別にみると、架空請求詐欺に関する相談の416件（相談件数の90%）が最も多く、次いで還付金詐欺に関する相談の42件（相談件数の9.1%）となっています。

また、これまで数年間相談が寄せられていなかったオレオレ詐欺の相談が2件となりました。  
（単位：件）

	オレオレ詐欺	架空請求詐欺	融資保証金詐欺	還付金詐欺	合計
平成27年 4－9月	2	416	2	42	462
平成26年 4－9月	0	294	3	25	322
増減	2 (－)	122 (41.5%)	▲1 (▲33.3%)	17 (68.0%)	140 (43.5%)

## (2) インターネット通信サービスに関する相談の増加

### ア 相談受付状況

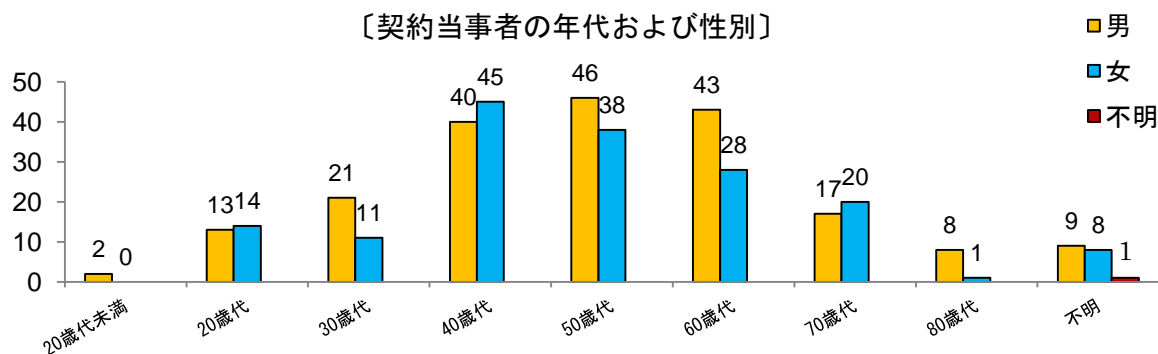
平成27年4－9月におけるインターネット通信サービスに関する相談件数は365件で、前年同期より212件（138.6%）増加しています。

商品名別にみると、光ファイバーに関する相談の215件（相談件数の58.9%）が最も多くなりました。特に、大手電話会社が提供する光回線をインターネット接続事業者（ISP）に卸売りすることが認められたことから、光回線とプロバイダをセットで契約すると料金が安くなると勧誘され、契約内容をよく理解しないまま契約してしまったなどの光卸サービスに関する相談が増加しました。  
（単位：件）

商品名	平成27年 4－9月	平成26年 4－9月	増減
光ファイバー	215	54	161 (298.1%)
インターネット接続回線	124	85	39 (45.9%)
他のネット通信関連サービス	14	6	8 (133.3%)
その他	12	8	4 (50.0%)
計	365	153	212 (138.6%)

### イ 契約当事者の年代および性別

平成27年4－9月におけるインターネット通信サービスの契約当事者を年代・性別でみると、50歳代男性の46件が最も多く、次いで40歳代女性45件となっています。男女別では男性199件、女性165件で、男性の割合がやや高くなっています。

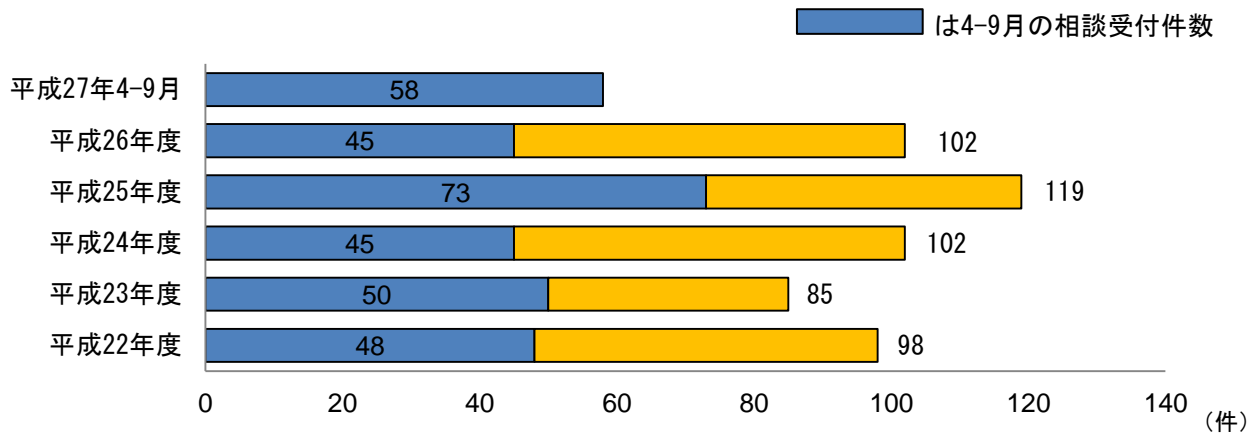


### (3) 判断不十分者の契約に関する相談受付状況

#### ア 相談受付状況

平成27年4-9月において、認知症などで判断能力が衰えた人の契約に関する相談が58件ありました。前年同期45件より13件(28.9%)の増加となっています。

〔判断不十分者契約の推移〕



#### イ 商品別相談受付状況

平成27年4-9月において、判断不十分者の契約を商品・役務別にみると、魚介類が最も多く12件(相談件数の20.7%)、次いで健康食品の6件(同10.3%)となりました。契約者の判断能力不足に乗じてカニや鮮魚などの魚介類を次々と送付する手口が見受けられました。

(単位：件)

	商品・役務名	平成27年度 4-9月	平成26年度 4-9月	増減
1	魚介類	12	2	10 (500.0%)
2	健康食品	6	8	▲2 (▲25.0%)
3	紳士・婦人洋服	4	0	4 (-)
4	家具・寝具	3	8	▲5 (▲62.5%)
	化粧品	3	1	2 (200.0%)
	他の教養娯楽品	3	1	2 (200.0%)
	放送・コンテンツ等	3	2	1 (50.0%)
	その他	24	23	1 (4.3%)
	計	58	45	13 (28.9%)

### (4) 多重債務に関する相談の受付状況

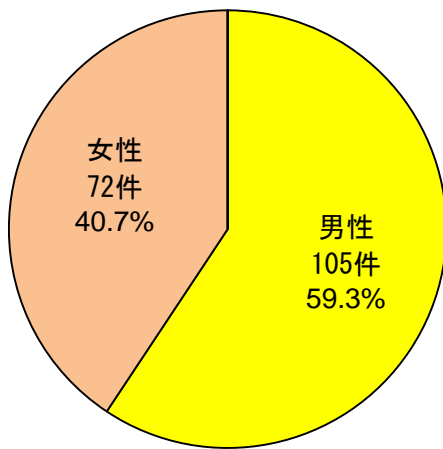
#### ア 相談受付状況

平成27年4-9月における多重債務に関する相談件数は177件で、前年同期より28件(13.7%)減少しています。

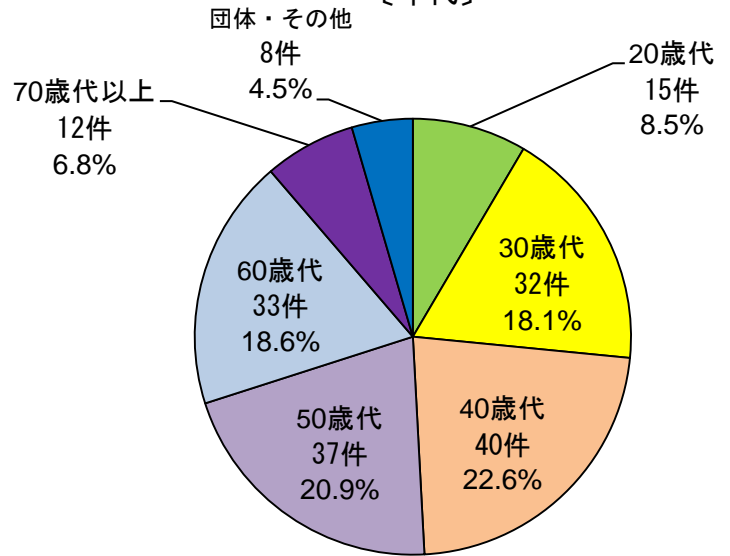
(単位：件)

	平成27年 4-9月	平成26年 4-9月	増減
相談受付件数	177	205	▲28 (▲13.7%)

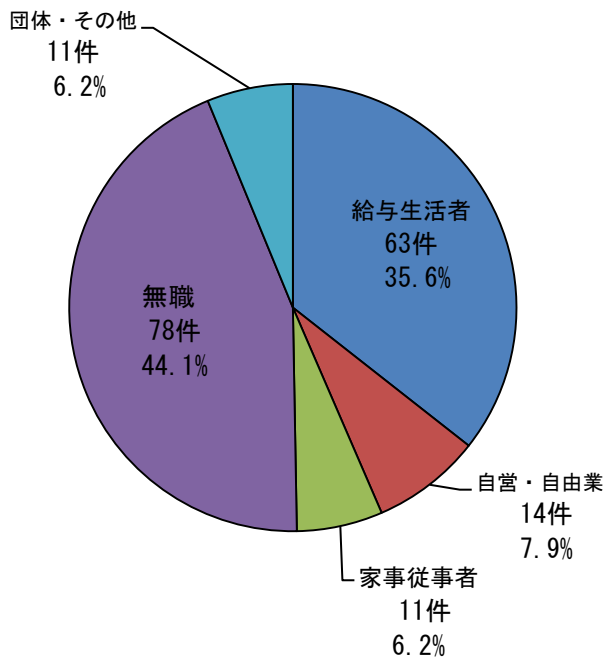
〔性別〕



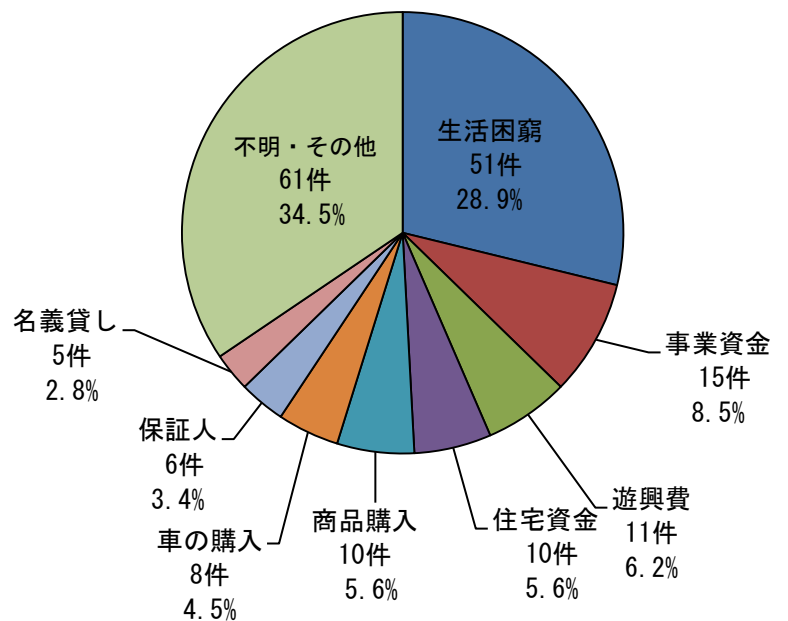
〔年代〕



〔職業〕



〔借金のきっかけ〕



## イ ヤミ金などの相談

平成27年4～9月におけるヤミ金などに関する相談件数は29件で、前年同期44件より15件(34.1%)減少しています。(単位:件)

	平成27年 4～9月	平成26年 4～9月	増減
ヤミ金	29	44	▲15 (▲34.1%)
融資保証金詐欺	2	3	▲1 (▲33.3%)
借金整理屋	4	0	4 (—)
ショッピング枠現金化	1	2	▲1 (▲50.0%)